

23全米販（業務）127号

平成24年2月27日

資源エネルギー庁 御中

全国米穀販売事業共済協同組合
理事長 木村 良

電気料金の値上げの見直しについて

我々、米穀販売事業者は、国民の基本的な生活物資である米を消費者に安定供給することにつき、日々尽力しているところです。

震災直後は、計画停電により精米能力に制限がある中であって、急激に増加した米需要に対応するため、フル操業に努めるとともに、夏期の電力節減についても、操業時間の早朝又は夜間への変更、照明のLEDへの切り替え等を実施するなど、限られた電力供給の下でも米の円滑な供給に最大限努力してきました。

一方で23年産米は、原発事故による放射能汚染への懸念などから、流通が混乱するとともに市場では前年を2割以上、上回る価格で推移しており、コスト吸収には努めておりますが、精米商品の価格の上昇を招いています。

このような状況の下で、東京電力は、突然、本年4月以降、事業部門の電気料金を平均17%値上げすることを発表しました。

このような電力料金の値上げは、デフレ経済の中でコスト吸収に努めている米穀販売事業者の経営に深刻な影響を及ぼすとともに国民の基本的な生活物資である米の価格の上昇及び安定供給への支障をきたすおそれがあるものであり、到底容認できるものではありません。

貴庁におかれましては、このような事情に十分配慮いただき、東京電力に対し、電気料金の値上げを見直すよう、格段のご高配をお願い申し上げます。

23全米販（業務）127号
平成24年2月27日

東京電力株式会社 御中

全国米穀販売事業共済協同組合
理事長 木村 良

電気料金の値上げの見直しについて

我々、米穀販売事業者は、国民の基本的な生活物資である米を消費者に安定供給することにつき、日々尽力しているところです。

震災直後は、計画停電により精米能力に制限がある中であって、急激に増加した米需要に対応するため、フル操業に努めるとともに、夏期の電力節減についても、操業時間の早朝又は夜間への変更、照明のLEDへの切り替え等を実施するなど、限られた電力供給の下でも米の円滑な供給に最大限努力してきました。

一方で23年産米は、原発事故による放射能汚染への懸念などから、流通が混乱するとともに市場では前年を2割以上、上回る価格で推移しており、コスト吸収には努めておりますが、精米商品の価格の上昇を招いています。

このような状況の下で、貴社は、突然、本年4月以降、事業部門の電気料金を平均17%値上げすることを発表されました。

このような電力料金の値上げは、デフレ経済の中でコスト吸収に努めている米穀販売事業者の経営に深刻な影響を及ぼすとともに国民の基本的な生活物資である米の価格の上昇及び安定供給への支障をきたすおそれがあるものであり、到底容認できるものではありません。

貴社におかれましては、このような事情に十分配慮いただき、電気料金の値上げを見直しただけますよう、お願い申し上げます。